

# 第16期通常総会議案書

日時： 2019年6月29日（土） 16：20～17：20  
場所： 大津町オークスプラザ ふれあいホール

## 議題

- 第一号議案 2018年度事業報告並びに活動計算書承認の件
- 第二号議案 2019年度事業計画及び活動予算案決定の件
- 第三号議案 定款変更の件
- 第四号議案 借入金最高限度額決定の件
- 第五号議案 疑似私募債発行の件
- 第六号議案 その他

## 添付資料

- 資料1 活動日誌
- 資料2 草原学習ニュースレター
- 資料3 暖談の会開催レポート
- 資料4 新聞記事
- 資料5 定款変更案

## 第一号議案 2018年度の活動報告並びに活動計算書承認の件

### 1. 事業概況報告

#### (1) 当初事業方針

KBFの活動拠点である阿蘇地域について、熊本地震から3年目となりますが、まだまだ復興の途上であることから、引き続き復興支援活動に取り組んでいきます。その中で、阿蘇市においてバイオマスの活用を通じて、復興につながる事業を展開・支援していきます。特に、昨年度は薪不足が起こったことや、未整備の森林による土砂災害の危険性が高まっていることから、以下の通り木質バイオマスを重点課題として進めていきます。

- ・阿蘇市における木質バイオマス事業の推進と薪の製造能力の強化
- ・木質バイオマス利用の人材育成のための視察研修ツアーの開催
- ・災害復興支援の継続

#### <個別事業>

##### ① 広報啓発事業

バイオマスや再生可能エネルギーを活用することで、復興支援につながるようなセミナーやイベント等を通じて、バイオマスに関する情報発信を進めます。

##### ② 地域モデル推進事業

前年度に引き続き、NPO・関連団体と自治体や社協をネットワークでつなぎながら、中間支援団体として復興支援活動を進めていきます。また、阿蘇地域や熊本県内にあるバイオマスを活用することで、ローカルシンクタンク・DOタンクとして、バイオマス利活用に向けた調査や仕組みづくり・事業の具体化を進めます。

##### ③ 出前講座および専門家派遣事業

出前講座については、関係団体と協力しながら環境教育を実施していきます。専門家派遣事業については、再エネコンシェルジュ事業や企業へのコンサルタント事業を通じて、バイオマス利活用の仕組みづくりを進めていきます。

##### ④ 収益事業

薪の販売事業を中心に引き続き事業を発展・継続していきます。

#### (2) 2018年度の総括

- 災害復興支援は、当初の予算が確保できず12月で終了した。
- 再エネコンシェルジュの相談業務が好評であった。
- 企業からのコンサルや相談依頼が増加した。
- 木質バイオマス視察研修ツアーは、2019年6月に繰り越すこととなった。

##### ① ボランティア会員の募集

森づくりボランティアの登録者数は25名となりました。

##### ② セミナーや講師派遣を通じたバイオマスの普及啓発活動

資源エネルギー庁の再エネコンシェルジュ事業を通じて、全国各地に専門家を派遣し、バイオマス事業化についての相談業務を行いました。

##### ③ 熊本県の復興につながる自治体・企業の事業コンサルティング

熊本市などの自治体や、熊本県内の民間企業の助言・コンサルティングを行いました。

##### ④ 阿蘇市におけるバイオマス利活用の仕組みづくり

阿蘇市の担当課や地域の林業関係者、酪農家と密に情報交換を図りながら、バイオマス利活用の仕組みづくりの検討を進めました。

##### ⑤ 災害復興支援活動の継続（中間支援）

赤い羽根共同募金、JT 助成金などの支援をいただいて、復興支援活動を行いました。

⑥ 薪製造販売事業の製造施設拡張の検討

薪の製造能力を上げるための助成金申請などを行い、フォークリフトを導入しました。

(3) 事務局概況報告

2018年度の事務局体制は、薪製造担当者を含め5名体制でスタートしました。4月から事務職員の1名が祖父母の農作業の人手不足のために休職しましたが、11月に復職しました。薪生産販売体制を強化することや、休職した職員の補充のため、5月に職員を募集したところ、薪生産で1人、事務職員で1名の合計2名の採用を行いました。しかしながら薪生産で5月に雇用した職員が、持病の悪化により2月末で退職しました。その分をパート・アルバイトの増員で対応しているところです。2019年6月現在では、常勤の事務職員5名、薪生産1名、パート・アルバイト3名の体制となっています。

KBFの事務所として阿蘇市から借りている土地の隣の物産館が空室となったため、10月からKBFの事務所を隣の物産館に移転し、元のプレハブは解体撤去しました。また、12月には理事の松村氏により薪ストーブを設置していただきました。

(4) 2018年度の事業概要

① 特定非営利活動に係る事業 (2018年4月1日～2019年3月31日)

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
広報・啓発事業	(1)ニュースレターの発行100通×2回	—	—	0	0人	0
	(2)インターネットによる情報発信	随時	—	1	不特定多数	3
	(3)視察・見学の受け入れ	随時	阿蘇市	2	20人	1
	(4)セミナー・展示会・視察ツアー開催	—	九州内	0	不特定多数	0
バイオマス利用地域モデル推進事業	(1)阿蘇市木質バイオマス利活用事業	7～3月	阿蘇市	2	不特定多数	10,898
	(2)九州薪・木質ペレット活用協議会	通年	九州内	2	不特定多数	4,252
	(3)野草資源小委員会事務局運営	年4回	阿蘇市	1	17	10
出前講座および専門家派遣事業	(1)各種イベント・セミナー等への講師の派遣・コーディネート	通年	全国	1	不特定多数	1,756
	(2)出前講座 野草紙等、体験型環境学習の実施	通年	阿蘇郡	2	200人	231
災害支援事業	熊本地震による被災者の支援活動と産業復興支援活動	4月～3月	阿蘇郡内	5	不特定多数	1,906

② その他の事業(2018年4月1日～2019年3月31日)

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
その他の事業	(1)バイオマス利用に関する書籍・資料・ソフトウェア・データ等の販売	随時	セミナー会場等	1	20	14,131
	(2)ペレットストーブやバイオマスプラスチック製品などのバイオマス関連製品の販売	随時	九州内	1	—	
	(3)薪・ペレット・草などのバイオマスの生産・販売・流通事業	随時	九州内	3	400	
	(4)その他の上記の事業に付随する事業	随時	九州内	1	不特定多数	

## (5) 事業報告

### (ア) 活動日誌

資料1をご覧ください。

### (イ) 広報啓発事業

#### ① 会報・インターネットによる情報発信

ニュースレターに関しては、暖談の会の活動レポートを1回（資料2）発行しました。また、フェイスブックやホームページ等でセミナーや活動状況などの情報発信を行いました。

#### ② 視察・見学・研修生の受け入れ

以下の視察の受入を行いました。

12月14日 名城大学 2名

1月13日 熊本大学 8名

#### ③ セミナー・展示会・視察ツアーの開催

2018年度中にはバイオマスに関するセミナー・展示会への出展は実施できませんでした。が、熊本県の木質バイオマス関連施設の視察ツアーを2019年6月に実施しました。

#### ④ 新聞記事の掲載

資料4をご覧ください。

### (ウ) バイオマス利用地域モデル推進事業

#### ① 災害支援事業

阿蘇市災害ボランティア連絡会議の事務局として、月に1回の定例会議を2018年12月まで実施しました。以降は、不定期開催としています。復興支援のイベントとして以下の連携事業を実施しました。

- ・クリスマスイベント
- ・落語による癒しイベント
- ・仮設住宅の方のための住まいの勉強会
- ・支援者のための資金調達セミナー
- ・世界農業遺産ビジネスプランコンテスト+研修会

#### ② バイオマスタウン具体化事業

阿蘇市のNEDO事業で行ったガス化発電施設から熱電供給を行った温水プールの熱利用について、阿蘇市と引き続き協議を行いました。

#### ③ 九州薪・木質ペレット活用協議会（KFWA）

KFWAでは、下記の項目について事業を実施しました。

- ・暖談の会などの薪ストーブユーザー向けの薪づくりワークショップの開催

日程	開催場所
8月25日	熊本YMCA尾ケ石保育園
9月15日	阿蘇YMCAキャンプ場
9月22日	阿蘇YMCAキャンプ場
10月13日	熊本YMCA尾ケ石保育園



④ 阿蘇市木の駅プロジェクトの推進

災害に強い森づくりとして、地割れ等で土砂災害の危険性が高まっている外輪山の森林整備と間伐材の活用を進めました。また、日本郵便年賀寄附金の採択を受けて、熊本地震で避難所となっていた阿蘇市旧波野村の小学校跡地のやすらぎ交流館に薪ストーブを導入し、災害時のライフラインとして整備を行いました。



⑤ 草本系バイオマスの活用（オペレーター組合事務局業務）

KBF が設立当初から取り組んできた阿蘇地域の草本系バイオマスの活用については、2005～2009 年度に NEDO のエネルギー化実験事業を実施して以降は、堆肥・資材用などのマテリアル利用を中心に進めています。2013 年度以降は、草原再生 OP 組合の事業として野草の生産・販売を進め、KBF はその事務局として支援を行ってきました。2010 年から野草の販売を開始して以降、9 年連続野草の販売売上を伸ばしています。

2019 年度は晴天が続いて作業できる日数が確保できたため、当初の目標であった 150ha の採草面積を達成することができました。引き続き未利用地の確保に苦労している状況ですが、草本系バイオマスの有効活用は進んでいます。

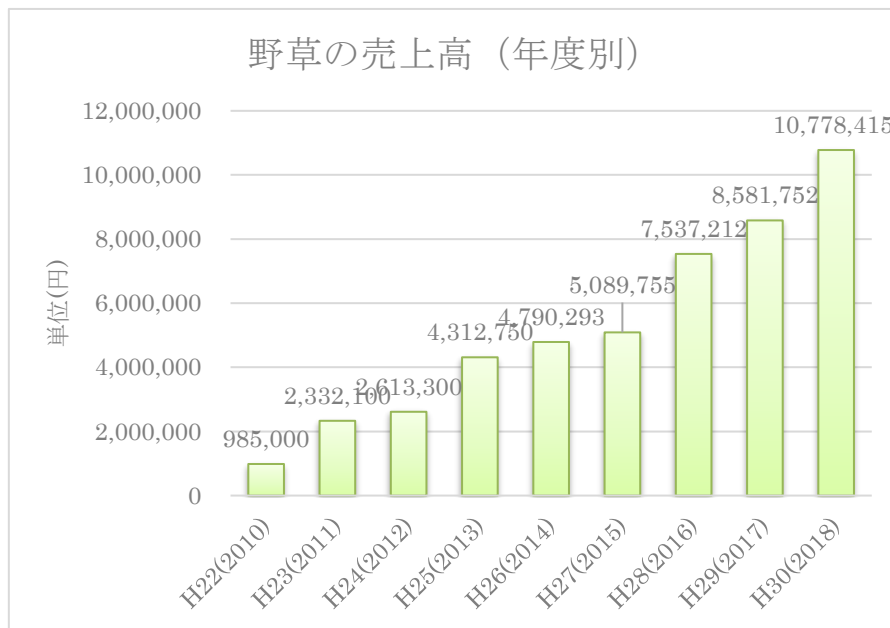


図 野草の年度別売上の推移

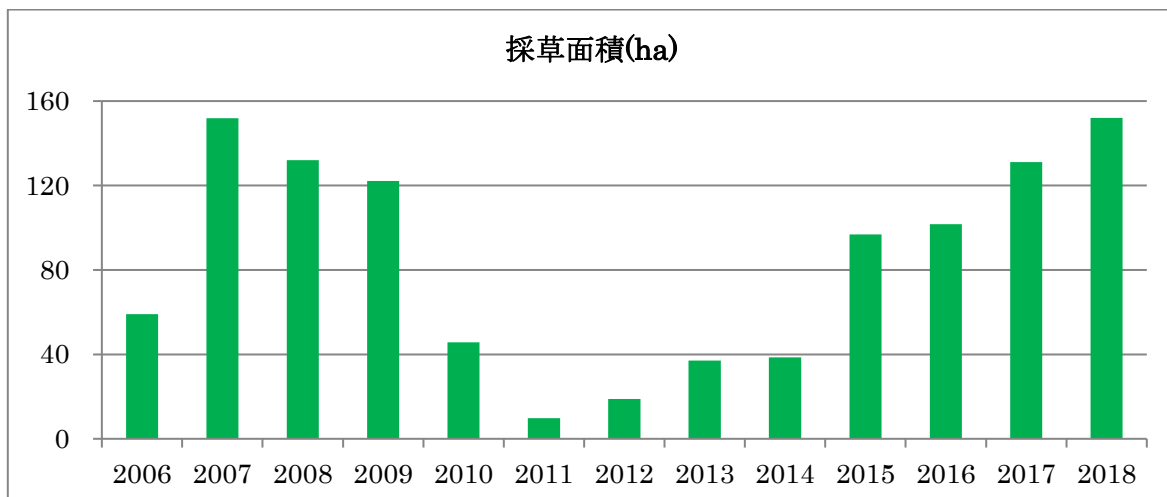


図 阿蘇の草原の採草面積の推移

(エ) 出前講座および講師派遣事業

① 講師派遣事業

再エネコンシェルジュ事業 相談事例（自治体等）

長崎県 長崎市、壱岐市

熊本県 熊本市、南小国町（民間企業）、小国町

大分県 竹田市、臼杵市、佐伯市

鹿児島県 鹿児島市



② 出前講座(環境教育)

2018年度は、環境省・草原学習館等の協力により、体験型草原環境学習事業として下記のとおり実施しました。

1) 草原のススキが入った「卒業証書や記念品づくり」

	実施月	対象	人数
1	1月23日	阿蘇小学校(6年生)	41



【紙漉き体験】

当団体が各学校に紙すきの機材を持ち込む。和紙の原料である楮とパルプに、自分たちが刈ったススキを入れて、卒業証書や記念品になる紙を漉いた。吸水し、約70度のアルミ板に貼って乾燥させる。

2) 草原のススキと牛乳パックを使ったハガキづくり体験

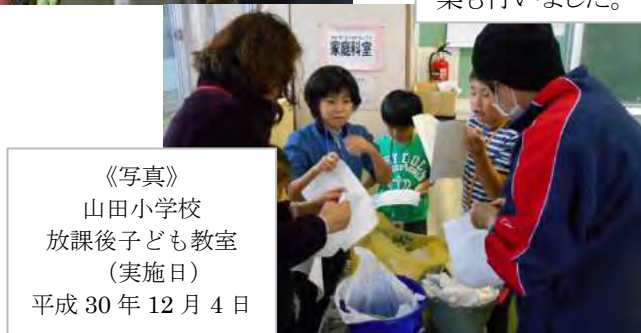
	実施月	対象	人数
1	8月25日	阿蘇市モーモーフェスタ	50
2	12月4日	山田小学校(放課後子ども教室)	16
3	12月6日	波野小学校(放課後子ども教室)	14
計			80



《写真》阿蘇市モーモーフェスタ  
実施日：平成30年8月25日  
場 所：みんなの森

空き時間には、水に浸した牛乳パックのビニールを剥ぐ作業も行いました。

《写真》  
波野小学校  
放課後子ども教室  
(実施日)  
平成30年12月6日



《写真》  
山田小学校  
放課後子ども教室  
(実施日)  
平成30年12月4日





(オ) その他の事業（収益事業）

① 書籍販売

予定していたセミナーや視察ツアーが開催できなかったため、販売できませんでした。売上は約1万円でした。

② 灰の販売

木灰の特殊肥料製造・販売届を熊本県に提出しました。木質バイオマスボイラーの燃焼灰を試供品として提供しましたが、売上は3.8万円でした。

③ トイレットペーパーの販売

阿蘇市内の観光施設を中心に、トイレットペーパーを販売しました。売上は約9.4万円でした。

④ 野草紙製品の販売

環境教育を支援する物品販売事業として位置づけ、名刺・ハガキ・賞状などの野草紙製品の製造販売を行いました。売上は約16万円でした。

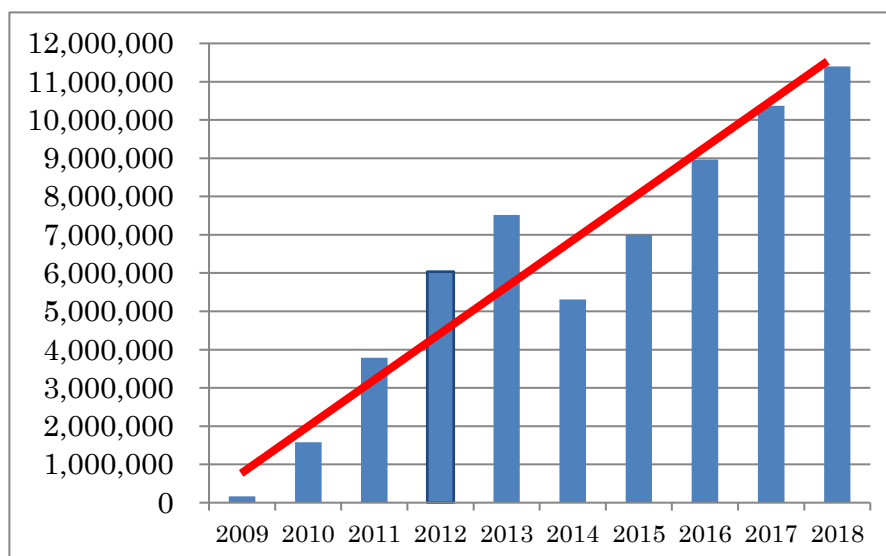
⑤ 薪の生産・販売

暖冬のために薪の販売は思ったほど伸びませんでした。例年並みの売り上げを確保することができました。

- ウッドバッグとポリ袋を整備することで、省力化と薪の品質向上の両立を図ることができました。



図 薪の販売売上の推移



## (カ) 2018 年度決算報告

## ① 活動計算書 (特定非営利活動およびその他の事業)

2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで

科目	金額 (単位: 円)		
	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1 受取会費			
KBF会費収入	488,000		488,000
薪協議会会費収入	484,800		484,800
2 受取寄附金	1,376,901		1,376,901
3 受取助成金等			
補助金収入	9,416,000		9,416,000
4 事業収益			
事業収入	1,934,113	13,815,089	15,749,202
委託事業収入	9,133,756		9,133,756
5 その他収益			
受取手数料			0
前期修正益	4,615		4,615
受取利息	18		18
雑収入	469,451		469,451
経常収益計	23,307,654	13,815,089	37,122,743
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	10,382,310	3,850,029	14,232,339
法定福利費	1,339,389	406,311	1,745,700
人件費計	11,721,699	4,256,340	15,978,039
(2) その他経費			
売上原価	382,158	6,786,428	7,168,586
謝金	225,000		225,000
福利厚生費	221,232	2,340	223,572
通信運搬費	409,366	30,552	439,918
光熱水費	145,803		145,803
旅費交通費	900,401	187,298	1,087,699
広告宣伝費	2,000	18,161	20,161
渉外費	123,714		123,714
会議費	31,858		31,858
消耗品費	1,028,912	675,207	1,704,119
図書資料費	59,203		59,203
印刷製本費	31,938	4,610	36,548
賃借料	1,580,158	929,924	2,510,082
業務委託費	1,421,486	22,190	1,443,676
車両費	1,550	395,450	397,000
車両燃料費	96,096	575,755	671,851
保険料	191,445	146,370	337,815
租税公課	5,155	32,950	38,105
諸会費	143,815	25,620	169,435
慶弔費	0	5,000	5,000
支払手数料	53,728	37,182	90,910
減価償却費	194,804		194,804
支払利息	15,078		15,078
法人税・住民税及び事業税	71,002		71,002
その他経費計	7,335,902	9,875,037	17,210,939
事業費計	19,057,601	14,131,377	33,188,978

2	管理費			
	(1) 人件費			
	給料手当	546,437		546,437
	法定福利費	148,822		148,822
	人件費計	695,259	0	695,259
	(2) その他経費			
	謝金			0
	福利厚生費	11,646		11,646
	通信運搬費	38,400		38,400
	光熱水費	16,200		16,200
	旅費交通費	11,226		11,226
	広告宣伝費			0
	渉外費	2,987		2,987
	会議費	9,666		9,666
	消耗品費			0
	図書資料費	6,578		6,578
	印刷製本費			0
	賃借料	105,815		105,815
	業務委託費	33,684		33,684
	車両費			0
	車両燃料費	6,828		6,828
	保険料	13,405		13,405
	租税公課	702,495		702,495
	諸会費	22,830		22,830
	慶弔費			0
	支払手数料	5,262		5,262
	減価償却費	361,780		361,780
	支払利息	219,211		219,211
	雑損失	257,040		257,040
	その他経費計	1,825,053	0	1,825,053
	管理費計	2,520,312	0	2,520,312
	経常費用計	21,577,913	14,131,377	35,709,290
	当期経常増減額	1,729,741	-316,288	1,413,453
III	経常外収益			
	1 過年度損益修正益			0
	経常外収益計	0	0	0
IV	経常外費用			
	1 過年度損益修正損			0
	経常外費用計	0	0	0
	経理区分振替額	-316,288	316,288	0
	当期正味財産増減額	1,413,453	0	1,413,453
	前期繰越正味財産額	537,038	0	537,038
	次期繰越正味財産額	1,950,491	0	1,950,491

## 活動計算書の注記

### 1) 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会）によっています。

#### ① 収益及び費用の計上基準

収益・・・実現主義

費用・・・発生主義

#### ② 固定資産の減価償却の方法

建物の減価償却は定額法、車両運搬具、機械装置、器具備品は定率法によっています。

#### ③ 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

#### ④ 借入金の増減内訳

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
疑似私募債	3,600,000	0	0	3,600,000

### 2) 固定資産の増減内訳

科目	期首取得額	取得	減少	期末取得額	減価償却累計額	期末帳簿価額
建物	1,725,737			1,725,737	1,257,125	468,612
機械装置	3,612,154	766,476		4,378,630	536,544	3,842,086
車両運搬具	598,500	2,257,200		2,855,700	365,148	2,490,552
器具及び備品	9,647,613	2,315,692		11,963,305	2,836,985	9,126,320
合計	15,584,004			20,923,372	4,995,802	15,927,570

3) 事業費の内訳

科目	特定非営利活動に係る事業				小計	その他の事業				小計	合計
	広報啓発事業	人材利用地域モデル推進事業	出前講座および専門家派遣事業	災害支援事業		人材利用に関する書籍・資料・ソフトウェア等の販売	レシートや人材の制作などの人材関連製品の販売	審判・審判員などの人材の生産・販売・流通事業	その他左記の事業に付随する事業		
(1) 人件費											
給料手当		7,650,123	1,311,449	1,420,738	10,382,310	0		3,850,029		3,850,029	14,232,339
法定福利費		1,190,569	148,820		1,339,389	0		406,311		406,311	1,745,700
人件費計	0	8,840,692	1,460,269	1,420,738	11,721,699	0	0	4,256,340	0	4,256,340	15,978,039
(2) その他経費											
売上原価		382,158			382,158	33,348		6,681,334	71,746	6,786,428	7,168,586
謝金		140,000		85,000	225,000					0	225,000
福利厚生費		163,018	27,946	30,268	221,232		2,340			2,340	223,572
通信運搬費	1,000	338,204	48,672	21,490	409,366		30,552			30,552	439,918
光熱水費		129,601	16,202		145,803					0	145,803
旅費交通費		599,675	212,296	88,430	900,401		187,298			187,298	1,087,699
広告宣伝費		2,000			2,000		18,161			18,161	20,161
渉外費	3,000	97,905	19,229	3,580	123,714					0	123,714
会議費		26,194	4,104	1,560	31,858					0	31,858
消耗品費		941,087		87,825	1,028,912		673,835	1,372		675,207	1,704,119
図書資料費		52,626	6,577		59,203					0	59,203
印刷製本費		4,480	80	27,378	31,938		4,610			4,610	36,548
賃借料		1,323,182	151,164	105,812	1,580,158		929,924			929,924	2,510,082
業務委託費		1,387,803		33,683	1,421,486		22,190			22,190	1,443,676
車両費		1,550			1,550		395,450			395,450	397,000
車両燃料費		86,026	10,070		96,096		575,755			575,755	671,851
保険料		183,786	7,659		191,445		146,370			146,370	337,815
租税公課		5,155			5,155		32,950			32,950	38,105
諸会費		127,150	16,665		143,815		25,620			25,620	169,435
慶弔費					0		5,000			5,000	5,000
支払手数料		46,750	6,438	540	53,728	778	36,404			37,182	90,910
減価償却費		194,804			194,804					0	194,804
支払利息		15,078			15,078					0	15,078
及び事業税		71,002			71,002						
その他経費計	4,000	6,319,234	527,102	485,566	7,335,902	34,126	0	9,767,793	73,118	9,875,037	17,139,937
合計	4,000	15,159,926	1,987,371	1,906,304	19,057,601	34,126	0	14,024,133	73,118	14,131,377	33,188,978

② 貸借対照表（法人全体：特定非営利活動およびその他の事業）

特定非営利活動およびその他の事業に係る事業会計貸借対照表

2019年3月31日 現在

NPO法人九州バイオマスフォーラム

（単位：円）

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
（現金・預金）		未 払 金	5,445,887
現 金	25,710	前 受 金	2,914,500
小口 現金	16,034	短期借入金	10,542,000
普通 預金	1,122,771	預 り 金	257,165
現金・預金 計	1,164,515	未払法人税等	71,000
（売上債権）		未払消費税等	317,700
売 掛 金	29,393	流動負債 計	19,548,252
未 収 金	7,545,962	<b>【固定負債】</b>	
売上債権 計	7,575,355	擬似私募債	3,600,000
（棚卸資産）		長期借入金	918,000
棚卸 資産	904,630	固定負債 計	4,518,000
棚卸資産 計	904,630	<b>負債の部合計</b>	<b>24,066,252</b>
（その他流動資産）		<b>正 味 財 産 の 部</b>	
仮 払 金	128,673	<b>【正味財産】</b>	
（その他流動資産） 合計	128,673	正味 財産	1,950,491
流動資産合計	9,773,173	（うち当期正味財産増加額）	1,413,453
<b>【固定資産】</b>		正味財産 計	1,950,491
（有形固定資産）		<b>正味財産の部合計</b>	<b>1,950,491</b>
建 物	468,612		
車両運搬具	2,490,552		
機械及び装置	3,842,086		
什器 備品	9,126,320		
有形固定資産 計	15,927,570		
（投資その他の資産）			
敷 金	316,000		
投資その他の資産 計	316,000		
固定資産合計	16,243,570		
<b>資産の部合計</b>	<b>26,016,743</b>	<b>負債・正味財産の部合計</b>	<b>26,016,743</b>

## ③ 財産目録（法人全体：特定非営利活動およびその他の事業）

④

## 特定非営利活動およびその他の事業に係る事業会計財産目録

2019年3月31日 現在

NPO法人九州バイオマスフォーラム

(単位：円)

《資産の部》		
<b>【流動資産】</b>		
(現金・預金)		
現金	25,710	
小口現金	16,034	
普通預金	1,122,771	
現金・預金計	<u>1,164,515</u>	
(売上債権)		
売掛金	29,393	
未収金	7,545,962	
売上債権計	<u>7,575,355</u>	
(棚卸資産)		
棚卸資産	904,630	
棚卸資産計	<u>904,630</u>	
(その他流動資産)		
仮払金	128,673	
(その他流動資産) 合計	<u>128,673</u>	
流動資産合計		9,773,173
<b>【固定資産】</b>		
(有形固定資産)		
建物	468,612	
車両運搬具	2,490,552	
機械及び装置	3,842,086	
什器備品	9,126,320	
有形固定資産計	<u>15,927,570</u>	
(投資その他の資産)		
敷金	316,000	
投資その他の資産計	<u>316,000</u>	
固定資産合計		<u>16,243,570</u>
資産の部 合計		<u>26,016,743</u>
《負債の部》		
<b>【流動負債】</b>		
未払金	5,445,887	
前受金	2,914,500	
短期借入金	10,542,000	
預り金	257,165	
未払法人税等	71,000	
未払消費税等	317,700	
流動負債計	<u>19,548,252</u>	
<b>【固定負債】</b>		
擬似私募債	3,600,000	
長期借入金	918,000	
固定負債計	<u>4,518,000</u>	
負債の部 合計		<u>24,066,252</u>
正味財産		<u>1,950,491</u>



(6) 監査報告

下記の監査報告書をご覧ください。内容については宮本監事よりご報告いただきます。

監査報告書

特定非営利活動法人  
九州バイオマスフォーラム理事会 御中

2018年4月1日より2019年3月31日までの2018年度における特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラムの事業報告書、活動計算書、貸借対照表その他の関係書類の監査を行った結果、適正かつ公正な業務執行および会計処理を行っていることを報告致します。

2018年6月16日  
特定非営利活動法人 九州バイオマスフォーラム

監事 宮本 友和 

## 第二号議案 2019年度事業計画及び活動予算案決定の件

### (1) 2019年度の活動方針

#### <全体方針>

熊本地震から3年が経過し、地震以降復興支援活動を継続してきましたが、今年度からは本来の活動に復帰し、バイオマスの利活用の推進に全力で取り組んでいきます。地域資源であるバイオマスを活用する仕組みを作ることが、熊本の復興にもつながると考えます。

#### <個別事業>

##### ① 広報啓発事業

バイオマスに関するセミナーや再エネコンシェルジュ事業の相談業務を通じて、バイオマスに関する人材育成や情報提供を行います。

##### ② 地域モデル推進事業

阿蘇地域を中心に熊本県内にあるバイオマスを活用することで、ローカルシンクタンク・DOタンクとして、バイオマス利活用に向けた調査や仕組みづくり・事業の具体化を進めます。

##### ③ 出前講座および専門家派遣事業

出前講座については、関係団体と協力しながら環境教育を実施していきます。専門家派遣事業については、再エネコンシェルジュ事業や企業へのコンサルタント事業を通じて、バイオマス利活用の仕組みづくりを進めていきます。

##### ④ 収益事業

薪の販売事業を中心に引き続き事業を発展・継続していきます。これまでの課題であった薪の乾燥については、林野庁の事業を活用して課題解決を目指します。

### (2) 2019年度事業概要

#### ① 特定非営利活動に係る事業（2019年4月1日～2020年3月31日）

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
広報・啓発事業	(1)ニュースレターの発行 100通×2回	随時	—	1	200人	20
	(2)インターネットによる情報発信	随時	—	1	不特定多数	50
	(3)視察・見学の受け入れ	随時	阿蘇市	1	200人	5
	(4)セミナー・展示会・視察ツアー開催	2回	九州内	1	不特定多数	1500
バイオマス利用地域モデル推進事業	(1)阿蘇市バイオマス利活用事業	7～3月	阿蘇市	2	不特定多数	3000
	(2)九州薪・木質ペレット活用協議会	通年	九州内	2	不特定多数	1900
	(3)野草資源小委員会事務局運営	年4回	阿蘇市	1	17	10
	(4)コンサルティング業務	通年	全国	2	不特定多数	3000
	(4)地域内エコシステム技術開発事業	6月～3月	阿蘇市	6	不特定多数	15,000
出前講座および専門家派遣事業	(1)各種イベント・セミナー等への講師の派遣・コーディネート	通年	全国	1	不特定多数	1200
	(2)出前講座 野草紙等、体験型環境学習の実施	通年	阿蘇郡	2	200人	90

② その他の事業(2019年4月1日～2020年3月31日)

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
その他の事業	(1)バイオマス利用に関する書籍・資料・ソフトウェア・データ等の販売	随時	セミナー会場等	1	20	10,000
	(2)ペレットストーブやバイオマスプラスチック製品などのバイオマス関連製品の販売	随時	九州内	1	—	
	(3)薪・ペレット・草などのバイオマスの生産・販売・流通事業	随時	九州内	3	400	
	(4)その他の上記の事業に付随する事業	随時	九州内	1	不特定多数	

(3) 広報啓発事業

① 会報・インターネットによる情報発信

フェイスブックやホームページから、リアルタイムに KBF の支援活動やバイオマスに関するイベント・ニュースについて、情報発信していきます。

② 視察・見学・研修生の受け入れ

2019 年度も、バイオマスの普及啓発の一環として、一般・学生の視察を受け入れるほか、職場体験など地元学校の学生を受け入れることで、バイオマスの普及啓発や環境教育、薪の生産販売など、バイオマス利用の実践を学ぶ場を提供します。

③ セミナー・展示会・視察ツアーの開催

九州薪・木質ペレット活用協議会を中心に、薪・木質ペレットに関するセミナー・展示会を実施します。薪・ペレットストーブの展示、薪割り体験やセミナーを開催するほか、木質バイオマスの人材育成を目的とした視察研修会を開催します

(4) バイオマス利用地域モデル推進事業

① 阿蘇市バイオマス事業

阿蘇市と連携して調査予算を確保し、木質バイオマスの利活用システムの構築について検討を進めていきます。また、バイオマスタウン構想の具体化に向けて、阿蘇市や地域の事業者と一緒に調査・検討を進めていきます。これまで進めてきた「阿蘇市木の駅プロジェクト」も推進していきます。

また、阿蘇市内の酪農家や廃棄物事業者と連携し、メタン発酵による地域循環の仕組みづくりを進めていきます。

② 九州薪・木質ペレット活用協議会 (KFWA)

KFWA では、これまでと同様に下記の項目について実施していきます。

- ・ストーブの展示会・セミナーの開催
- ・熊本県内で木質バイオマス利用施設見学会および研修会の開催
- ・暖談の会などの薪ストーブユーザー向けの間伐体験・薪づくりワークショップの開催
- ・地域内エコシステム技術開発事業「薪の乾燥技術開発」への協力

### ③ コンサルティング業務

バイオマスの利活用や排熱利用、農林業との連携など、新規事業計画や運用改善のコンサルティング・相談業務を受託業務として実施します。

### ④ 地域内エコシステム技術開発事業

林野庁「地域内エコシステム技術開発事業」により、薪の乾燥システムの技術開発を行います。これまで天日乾燥では、半年～1年程度必要であった乾燥期間を、現場で発生する木くずを燃料として温風を発生させ、3日間から1週間程度で、含水率を30%から20%以下に落とす技術を開発します。天日乾燥ともうまく組み合わせて、経済的な乾燥システムを開発することで、九州内で発生していた薪不足の解消を目指します。

## (5) 出前講座および専門家派遣事業

### ① 講師派遣事業

・自治体や他団体からの要請に応じて、セミナーやシンポジウムに講師を派遣します。昨年度と同様に、再エネコンシェルジュ事業として実施を予定しています。

### ② 出前講座(環境教育)の発展

これまでの、草原のススキから野草紙をつくるプロジェクトが地元に着いています。関係機関と連携を取りながら、前年度と同様の規模で実施を予定しております。

## (6) その他の事業

### ① 書籍販売

バイオマスに関連する書籍をセミナー・シンポジウム会場で販売することで、KBFの運営資金に充てる予定です。

### ② 灰の販売

木質バイオマスボイラーの燃焼灰を商品化し、パッケージなどを作成して販売できる体制を整えていきます。

### ③ トイレットペーパーの販売

トイレットペーパー販売事業を継続し、その収益を草原環境学習の財源として活用していきます。

### ④ 野草紙製品の販売

環境教育を支援する物品販売事業として位置づけ、名刺・ハガキ・賞状などの野草紙製品の製造販売を行います。

### ⑤ 薪の生産・販売

薪不足が課題となっていたため、以下の対策を実施して在庫不足を解消していきます。

- ・地域内エコシステム技術開発事業を活用した薪の乾燥技術開発
- ・他の薪生産事業者との連携による安定供給
- ・地域通貨を活用した「木の駅」プロジェクトの推進

(7) 2019年度活動予算

2019年度は、これまで自主事業である薪生産販売事業の中で大きな課題であった「薪の乾燥」について、林野庁「地域内エコシステム技術開発」の採択を受け、九州薪木質ペレット活用協議会の法人会員の協力を得ながら事業を実施する予定です。また、再エネコンシェルジュ事業や企業のコンサルティング等の実施体制として、薬師堂理事長にも月に6回勤務していただくことから、理事長給与として下記予算に計上しております。理事長給与は税法上「役員報酬」となるため、定款22条により総会議決事項にあたります。事業の円滑な実施のために承認をお願いいたします。

科目	2018年度決算			2019年度予算		
	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計	特定非営利活動に係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益						
1 受取会費						
KBF会費収入	488,000		488,000	500,000		500,000
薪協議会会費収入	484,800		484,800	500,000		500,000
2 受取寄附金	1,376,901		1,376,901	1,300,000		1,300,000
3 受取助成金等						
補助金収入	9,416,000		9,416,000	16,000,000		16,000,000
4 事業収益						
事業収入	1,934,113	13,815,089	15,749,202	2,000,000	14,000,000	16,000,000
委託事業収入	9,133,756		9,133,756	9,000,000		9,000,000
5 その他収益						
受取手数料			0			0
前期修正益	4,615		4,615	5,000		
受取利息	18		18	20		20
雑収入	469,451		469,451	500,000		500,000
経常収益計	23,307,654	13,815,089	37,122,743	29,805,020	14,000,000	43,800,020
II 経常費用						
1 事業費						
(1) 人件費						
役員報酬	0	0	0	1,200,000	0	1,200,000
給料手当	10,382,310	3,850,029	14,232,339	11,000,000	4,500,000	15,500,000
法定福利費	1,339,389	406,311	1,745,700	1,500,000	400,000	1,900,000
人件費計	11,721,699	4,256,340	15,978,039	12,500,000	4,900,000	17,400,000
(2) その他経費						
売上原価	382,158	6,786,428	7,168,586	400,000	7,000,000	7,400,000
謝金	225,000	0	225,000	400,000	0	400,000
福利厚生費	221,232	2,340	223,572	230,000	10,000	240,000
通信運搬費	409,366	30,552	439,918	400,000	50,000	450,000
光熱水費	145,803	0	145,803	150,000	0	150,000
旅費交通費	900,401	187,298	1,087,699	1,500,000	200,000	1,700,000
広告宣伝費	2,000	18,161	20,161	10,000	0	10,000
渉外費	123,714	0	123,714	140,000	0	140,000
会議費	31,858	0	31,858	30,000	0	30,000
消耗品費	1,028,912	675,207	1,704,119	5,000,000	700,000	5,700,000
図書資料費	59,203	0	59,203	50,000	0	50,000
印刷製本費	31,938	4,610	36,548	30,000	5,000	35,000
賃借料	1,580,158	929,924	2,510,082	1,600,000	950,000	2,550,000
業務委託費	1,421,486	22,190	1,443,676	2,500,000	30,000	2,530,000
車両費	1,550	395,450	397,000	10,000	500,000	510,000
車両燃料費	96,096	575,755	671,851	100,000	600,000	700,000
保険料	191,445	146,370	337,815	200,000	200,000	400,000
租税公課	5,155	32,950	38,105	5,000	30,000	35,000
諸会費	143,815	25,620	169,435	150,000	25,000	175,000
慶弔費	0	5,000	5,000	10,000	10,000	20,000
支払手数料	53,728	37,182	90,910	50,000	50,000	100,000
減価償却費	194,804	0	194,804	2,000,000	0	2,000,000
支払利息	15,078	0	15,078	20,000	0	20,000
法人税・住民税及び事業税	71,002	0	71,002	72,000	0	72,000
その他経費計	7,335,902	9,875,037	17,210,939	15,057,000	10,360,000	25,417,000
事業費計	19,057,601	14,131,377	33,188,978	27,557,000	15,260,000	42,817,000

2	管理費						
	(1) 人件費						
	給料手当	546,437		546,437	600,000		600,000
	法定福利費	148,822		148,822	140,000		140,000
	人件費計	695,259	0	695,259	740,000	0	740,000
	(2) その他経費						
	謝金			0			0
	福利厚生費	11,646		11,646	10,000		10,000
	通信運搬費	38,400		38,400	37,000		37,000
	光熱水費	16,200		16,200	20,000		20,000
	旅費交通費	11,226		11,226	10,000		10,000
	広告宣伝費			0			0
	渉外費	2,987		2,987	10,000		10,000
	会議費	9,666		9,666	20,000		20,000
	消耗品費			0	10,000		10,000
	図書資料費	6,578		6,578	10,000		10,000
	印刷製本費			0	10,000		10,000
	賃借料	105,815		105,815	100,000		100,000
	業務委託費	33,684		33,684	30,000		30,000
	車両費			0	30,000		30,000
	車両燃料費	6,828		6,828	10,000		10,000
	保険料	13,405		13,405	10,000		10,000
	租税公課	702,495		702,495	800,000		800,000
	諸会費	22,830		22,830	25,000		25,000
	慶弔費			0			0
	支払手数料	5,262		5,262	10,000		10,000
	減価償却費	361,780		361,780	500,000		500,000
	支払利息	219,211		219,211	360,000		360,000
	雑損失	257,040		257,040	200,000		200,000
	その他経費計	1,825,053	0	1,825,053	2,212,000	0	2,212,000
	管理費計	2,520,312	0	2,520,312	2,952,000	0	2,952,000
	経常費用計	21,577,913	14,131,377	35,709,290	30,509,000	15,260,000	45,769,000
	当期経常増減額	1,729,741	-316,288	1,413,453	-703,980	-1,260,000	-1,963,980
III	経常外収益						
	1 過年度損益修正益			0			0
	経常外収益計	0	0	0	0	0	0
IV	経常外費用						
	1 過年度損益修正損			0			0
	経常外費用計	0	0	0	0	0	0
	経理区分振替額	-316,288	316,288	0	1,184,000	-1,184,000	0
	当期正味財産増減額	1,413,453	0	1,413,453	480,020	0	480,020
	前期繰越正味財産額	537,038	0	537,038	1,950,491	0	1,950,491
	次期繰越正味財産額	1,950,491	0	1,950,491	2,430,511	0	2,430,511

### 第三号議案 定款変更の件

#### (1) 定款変更について

別紙（資料5）の定款変更案をご確認ください。主な変更点は、以下の通りです。

- ・事業内容を追加
- ・役員の定数を変更
- ・議事録等の署名を記名に変更

### 第四号議案 借入金最高限度額決定の件

2019年度の事業費は、約4380万円を予定しております。その運転資金として、2500万円を上限として、銀行等の金融機関から借り入れることについて、ご承認願います。

## 第五号議案 疑似私募債発行の件

当法人では、バイオマス利活用に関する広報啓発や事業を通して循環型社会を目指す取り組みを進めていくため、自主事業等を通じて当団体の基盤強化を進めてまいりました。そのために、第9期通常総会にて私募債を発行しました。おかげさまで順調に薪の売上が伸びておりますが、需要増加に応じてさらに追加の設備投資が必要なことや、銀行からの借入金による利子負担を軽減するために、理事会では新たな「私募債」の発行を行うこととしました。

会社法によると「私募債」は、株式会社及び医療法人が発行主体となる社債となります。そこで、特定非営利法人である KBF では、金銭消費貸借契約としての「疑似私募債」の発行という形を取っております。ただし、混乱を避けるために、これまでどおり「私募債」という表現で進めさせていただきます。私募債の発行に必要な書類の案を資料6に示します。

私募債の発行は、定款の22条および52条に基づき、総会の議決事項となりますので、ご承認をお願いいたします。

## 第六号議案 その他（意見交換）

ご出席の会員の皆様から、ご意見ご要望がございましたらお願いします。



私募債に関する関連書類

- (1) 募集趣意書
- (2) 募集要項
- (3) 申込証
- (4) 私募債申込受付票
- (5) 募集決定通知書
- (6) 振込金預かり証
- (7) 私募債券
- (8) 私募債原簿

特定非営利活動法人 九州バイオマスフォーラム

(1) 募集趣意書

2019年7月吉日

\_\_\_\_\_  
殿

特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム  
理事長 薬師堂 謙一

拝啓 時下、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、当法人では、バイオマス利活用に関する広報啓発や事業を通して循環型社会を目指す取り組みを進めてきていますが、地球温暖化やSDGsが注目を集める中で、再生可能エネルギーを地域で実践していくことが求められています。

こうした取り組みを進める上で、財源確保としてこれまで補助金・助成金や自主事業として薪の生産販売を進めてきましたが、おかげさまで薪の販売は順調に伸びています。今後、高まっている薪の需要に対応して生産拡大していくためには、設備投資や運転資金の確保が課題となります。また、補助事業を実施するための運転資金の銀行からの借入による金利も負担となっています。

つきましては、こうした自主事業の強化や経営改善を図っていくために、別紙「募集要項」に基づき、私募債を発行することにしました。日頃より当法人の活動に関心を寄せご協力いただいている皆様に、ぜひともこの私募債を購入いただいて自主事業及び当法人の運営基盤の強化の礎を築いていただけますようお願い申し上げます。

趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

敬具

## (2) 募集要項

1. 発行元  
〒869-2612  
熊本県阿蘇市一の宮町5816  
(TEL) 0967-22-1013  
特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム  
理事長 薬師堂 謙一
2. 募集対象者  
特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム役員及び会員  
同法人の関係者及び団体・法人  
10人未満
3. 発行総額  
10,000,000円
4. 1口額面  
400,000円 1種類
5. 発行日  
2019年8月1日
6. 募集期間  
2019年7月1日～7月31日
7. 募集の方法  
直接募集  
募集趣意書・募集要項・申込証を対象者に渡し、募集する。
8. 申込みの方法  
申込証に自筆で購入口数・金額・申込日付・住所・氏名を記入し押印の上、  
申し込む。  
当法人への郵送申し込み、当法人事務所での直接申し込みは、いずれも可。  
FAX及びメールでの申し込みは不可。
9. 申込者への連絡  
当法人は、申込証受領後、私募債申込受付票と募集決定通知書を申込者へ送  
付し、指定口座への額面金額の振り込みを促す。  
熊本銀行阿蘇支店 普通2087358
10. 振込の期限  
募集決定通知書を受け取った申込者は、受け取り後1週間以内に振込を行う。
11. 振込後の対応  
振込が確認されたら当法人は、申込者に振込金預かり証及び私募債券を送付  
する。
11. 利率  
年1.0% 毎年5月1日から10日の間に支払う。
12. 償還期限  
償還期限は、額面振込日の翌日から1年とする。償還の2か月前に、償還の  
希望の意思確認を行い、事前に償還の申込みがない場合は継続更新となる。
13. 譲渡制限  
私募債券者になった者が、満期日前に譲渡をする場合は、一括譲渡以外の譲  
渡は出来ない。この場合も当法人理事会の承認を要する。
14. 中途解約  
私募債券者は、当法人理事会の承認を得て中途解約をすることが出来る。た  
だし、解約の申し出は1ヶ月前までとする。  
中途解約については、利息は支払われない。

(3) 申込証

特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム 第2回私募債申込証

特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム

理事長 薬師堂 謙一

額面  円

(1口 400,000円)

募集要項承認の上、申込みいたします。

年 月 日

申込人

住所

氏名

印

(4) 私募債申込受付票

私募債申込受付票

殿

特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム 第2回私募債  
金 円

上記私募債のお申込を受付けました。

年 月 日

特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム  
理事長 薬師堂 謙一

(注) この受付票は私募債の引換券ではありません。売買譲渡等も出来ません。  
この受付票は私募債券がお手元に到着するまで保存下さい。

(5) 募集決定通知書

募集決定通知書

殿

今般当法人の私募債に募集して下さいまして、ありがとうございました。  
申込証にご記載の下記金額の通り決定させていただきましたので、本通知書到着  
後1週間以内に、熊本銀行阿蘇支店（普通）2087358にお振り込み下さい  
ますようお願い致します。

記

口 円

年 月 日

特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム  
理事長 薬師堂 謙一

(6) 振り込み金預かり証

振込金預かり証

殿

このたび 年 月 日 熊本銀行阿蘇支店に  
私募債申込金額 円をお振り込みいただき、誠にありがとうございました。  
ました。

この確認に基づき、あわせて私募債券を交付させていただきますので、受領下さい。

年 月 日

特定非営利活動法人九州バイオマスフォーラム  
理事長 薬師堂 謙一



